

# いのち 生命のらせんよ 永遠に とわ

～ 縄文スパイラル・マヴァになったゲンヤへ～  
むらかみよしこ タペストリー展



短い生涯に 縄文造形の新しく とてつもなく美しい花を咲かせ、  
またたく間に 翔けぬけてしまった縄文造形家・村上原野の物語。

**会期** 2021年 6月1日火～8月29日日

おまえの指先は 何度も土の表面を舞で、竹べらのつくる流れるような曲線の文様を、一層ならかにうごめかせる。  
おまえの縄文の渦は、ゆたかな水をたたえた泉のように幾つもいくつもほとぼしり出て、尽きることがない。  
文様は、流れるように滑るさ、美しいラインは 美しい歌のように どこまでも伸びやかに次々と果てしない渦をつくっていく。  
おまえの魂がこうした造形を生み出したのだ。美しい文様渦は 大地の無限の豊かさを表象しているのだ。  
文様は魂のかたち、生命のゆらめぎ、愛のぬくもり、そして母なる大地への賛歌。

村上原野の誕生から最後の日々まで、舞っていた生命の痕跡をかき集めながら1年をかけて織りあげた鎮魂のタペストリーです。

— 作品「生命のらせんよ 永遠に」(羊毛手紡ぎ・草木染・手織作品250×263cm)

【開館時間】午前9:30～午後5:00  
【休館日】月曜(祝日は閉館・翌火曜休館)  
【観覧料】一般400円/高校生200円  
【アクセス】岡山から車で約90分  
岡山空港から車で約70分  
賀陽ICから車で約45分  
新見ICから車で約30分  
井倉駅からタクシーで約15分  
方谷駅からタクシーで約10分

 **猪風来美術館**  
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)は日本でも唯一の現代縄文美術館。現代縄文アートの創始者である縄文造形家の猪風来(いふうらい)と村上原野の縄文野焼き作品や縄文法曾陶の代表作をはじめ、オブジェ、染織作品、絵画など、独自の縄文スパイラル造形作品二百数十点を常設展示しております。

